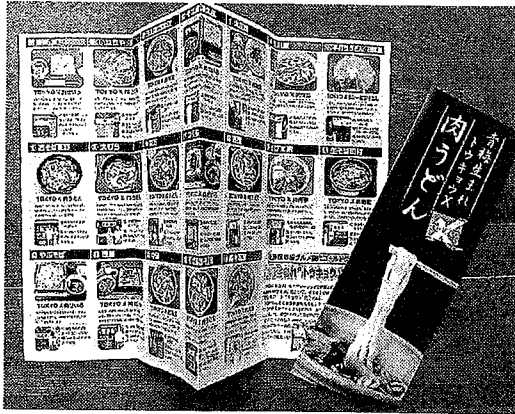


# 青梅生まれの「TOKYO-X」街の名物に

青梅生まれのブランド豚「TOKYO-X」を使った「肉うどん」を当地グルメにと、東京都麺類協同組合西多摩支部が、地元で味わえる店を紹介した店舗マップを製作した。

肉うどんは今年5月、東京サマーランドで開かれた「第1回多摩地区食の祭典大多摩B級グルメ」で、グランプリを獲得。その後、青梅市周辺のうどん店、そば店が次々にTOKYO-Xを取り入れた独自メニューを開発した。地域の名物として定着させたいと、マップが作られた。



食べ比べも楽しめる「TOKYO-X肉うどん」マップ

## ブランド豚の肉うどん店マップ 西多摩の19店紹介

マップに載っているのは、青梅市内が11店、福生市5店、瑞穂町1店、羽村市1店、奥多摩町1店の計19店。それぞれに「肉せいろ」「肉南蛮」など、自信のメニューを打ち出している。

TOKYO-Xは1997年、青梅市の旧東京都畜産試験場(現・東京都農林水産振興財団)でおいしい肉質の豚をかけ合わせて改良された高級豚。生産頭数に限度があり、特定の店でしか手に入れることができない。

肉うどんを地域のB級グルメにと発案した青梅市新町の「そば處津久茂」店主、築茂豊さん(66)は、1年前から店のメニューに肉せいろを加えている。「地元生まれの豚肉を生かしたくて思いついた。柔らかな肉とジューシーな脂身が、うどんやそばによく合い、つゆにコクも出る。マップでさらにファンを増やしたい」と話す。

マップは「TOKYO-X豚」の赤いのぼりが立つ19店と、JR青梅線小作駅以西の駅、青梅商工会議所、青梅観光案内などで配布している。  
(ライター・榎戸友子)